スラバヤ・バンコク 9 日間

山下　蒼空（赤穂市立赤穂西中学校１年）

12 月 21 日に日本を出発し、もう 1 週間がたちます。私にはこの 1 週間がとても充実した時間に感じました。12 月 21 日に日本からバンコクに向かいました。それが私の最初の海外です。

飛行機の中では「楽しみ」という気持ちもあったけれど、「みんなと仲良くできるかなぁ」とか「発表うまくできるかなぁ」などとても不安でした。22 日にあった発表練習ではみんながとても上手で、私は練習不足だったなぁと思いました。強弱をつけること、大事なところは顔を上げて読むことなどたくさん直されました。しかし、その時、本番で絶対に成功させたいという気持ちが強く私の心にあったので、一生懸命練習をしました。

23 日にスラバヤの学校を訪問しました。校門のところで伝統的な踊りを見せてくれるなど、私達をとても歓迎してくれて嬉しかったです。学校にはたくさんの木が植えられていたり、いらなくなったペットボトルでアクセサリーを作っていたり、エコの先生がいたり、とても環境に関心が高いんだなぁと思いました。日本の学校にも取り入れ、世界に広まったらいいなと思います。

24 日に文化交流がありました。AKB48 のダンスを踊り、喜んでもらえてよかったです。しかしいくつかのグループに分かれて議論をしないといけない時、私が会話が出来ずなかなか議論に入れなかったのでみんな困っていました。とてもとても申し訳なかったです。

25 日は「私たちは未来の地球に何ができるか」についての各国発表の日でした。昨日あまり話せなかったグループの人とインターネットの翻訳を使いながら楽しく話せてとても嬉しかったです。

私の発表する順番になると、とても足が震えてまっすぐに立つのが大変でした。しかし今までたくさん練習をしてきたことを思い出すと、自信が出てきました。聞いている人に伝えるんだという気持ちでがんばりました。自分でもあんなに堂々と喋れたのは初めてでびっくりしました。発表が終わった後にインドネシアの同じくらいの年の人たちから「あなたの発表はとてもよかったよ」と言われてとてもとても嬉しかったです。

27 日にあったスラバヤ市長主催の晩餐会はとても印象に残りました。食事をしようと思ったらたくさんのインドネシアの人々がプレゼントをくれたり、一緒に写真を撮ったり、ダンスをしたりしました。ずっと仲良くしてくれていた人たちが「蒼空、ありがとう。あ

なたのことは忘れないよ」と言って泣いていました。私のために人が泣いてくれたのは今までで初めての経験でとても感動しました。

今日、28 日はスラバヤとお別れです。スラバヤではたくさんのことを知り、考えさせられました。スラバヤの人々は会ったばかりの私たちにとても優しく、仲良くしてくれました。日本にはない人々の心の暖かさを知りました。

今回の訪問で英語の勉強不足をとても感じさせられました。もっと勉強をしておけばよかったととても後悔をしています。私が高校生や大学生になったら、たくさん英語がはなせるようになり、またここに来たいです。

これからいろいろなことに挑戦して、自分の可能性を広げたいです。